

島根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類*

林 成多¹⁾・島田 孝²⁾

¹⁾ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

²⁾隠岐自然館, 〒685-0013 島根県隠岐の島町中町 隠岐ポートプラザ 2F

Records on Elmidae and Dryopidae from Eastern Area of Shimane Prefecture and Oki Islands, Japan

Masakazu HAYASHI¹⁾ and Takashi SHIMADA²⁾

¹⁾Hoshizaki Green Foundation, Okinoshima 1659-5, Sono, Izumo, Shimane Pref., 691-0076 Japan

²⁾Oki Natural History Museum, Oki Portplaza 2F, Nakamachi, Okinoshima-cho, Shimane Pref., 685-0013 Japan

Abstract From 2004 to 2005, 18 species of Elmidae and one species of Dryopidae were recorded from eastern area of Shimane Prefecture and Oki Islands. Among them, eight species were firstly recorded from the prefecture and seven species were found from Oki Islands.

Key words : Elmidae, Dryopidae, Shimane Prefecture, Oki Islands, river

キーワード : ヒメドロムシ科, ドロムシ科, 島根県, 隠岐諸島, 河川

はじめに

ヒメドロムシ類は主に河川に生息する水生甲虫である。成虫は遊泳をせず、発達した爪で川底の礫や流木、植物の根にしがみついて生活している。飛翔能力のある種については、河川周辺での灯火へ多くの個体が飛来することがある。分類上はヒメドロムシ科とドロムシ科に属し、体長1-5mmほどで非常に小さい(佐藤, 1985)。同定は非常に困難なように思われるが、佐藤(1985)の図鑑と吉富ほか(1999)の検索を参照すれば、多くの種は同定が可能である。これは、各種の体長・体型が多様であること、上翅に斑紋がある種が多いことから、低倍率のルーペでも確認できる形質が多

く、慣れれば肉眼でもおおよその見当がつくからである。また、ヒメドロムシ類の詳しい生息環境や水質汚染への耐性が明らかになれば、河川環境をみるためのよい指標になることも期待される。

島根県では、淀江ほか(1998)、片岡ほか(1999)、松田・中村(1999)、鍵野・星川(2000)、門脇(2001)、尾原ほか(2001)、中村ほか(2001)、中村・松田(2005)などの主として河川を対象とした調査によりヒメドロムシ類2科16種がすでに報告されている。しかし、明らかな誤同定の種や同定の困難な種が含まれている報告もあり、再検討が必要である。また、ヒメドロムシ類を主な対象とした調査ではないため、とりわけ微小な種や灯火で採集されにくい種については記録されていないものも多い。なお、隣接する広島県

*ホシザキグリーン財団研究業績 第43号

では、秋山（2005）によって23種が記録されている。

本論文では2004年から2005年に島根県東部および隠岐諸島で行ったヒメドロムシ類の分布調査の結果を報告する。島根県東部では19種、隠岐諸島では7種が確認され、島根県初記録は8種である。あわせて、本調査と文献記録から、島根県産ヒメドロムシ類の仮目録を作成した。

材料と方法

ヒメドロムシ類はふだん川底の障害物にしがみついているが、ひとたび浮き上がると遊泳できないため、すべての肢を展開し、流下しながら障害物につかまろうとする習性がある。この習性を利用した採集方法として白布を使った採集法がある。これは、川底に手ぬぐいやタオルを沈めて足で踏むなどして固定し、上流側で石を起こすなど攪拌すると、ヒメドロムシ類が流下して布につかまり、容易に採集することができる（馬場，1991）。この方法では、砂粒や植物片は流れるため、昆虫のみが布上に残り発見が容易になるという利点もある。

筆者らは白布を使った採集法を応用し、大型の熱帯魚用ネット（金魚アミ）を利用し、ネットの底に穴を空けて採集に用いることにした（図1）。この方法の利点として、入手が容易で加工しやすく、柄があるため採集しやすいことがあげられる。また、島根県東部の流れの緩い下流域では、底質ごとD型ネット（メッシュ1mm×1mm）を用いて採集し、白色のバットに少量ずつ入れて拾い出しを行った（図2）。このほか、補助的に灯火採集（図3）も行った。

標本はすべて乾燥標本とし、各著者が採集した標本をそれぞれ保管しているが、林が採集した標本についてはホシザキ野生生物研究所に収蔵されている。

調査地

隠岐諸島では、主として島後で調査を行い、島前の西ノ島の1河川1地点でも調査をした（表1、図4）。隠岐での調査河川・地点数は合計で12水系17河川30地点であり、1カ所のため池を含む。



図1 熱帯魚用ネットによる採集



図2 すくい採った底質のソーティング



図3 灯火採集

島根県東部では、主として斐伊川水系（宍道湖・中海流入河川を含む）で調査を行った（表1、図5）。このほか、静間川水系、神戸川水系、島根半島の日本海流入河川でも調査をした。調査河川・地点数は合計で9水系34河川48地点である。

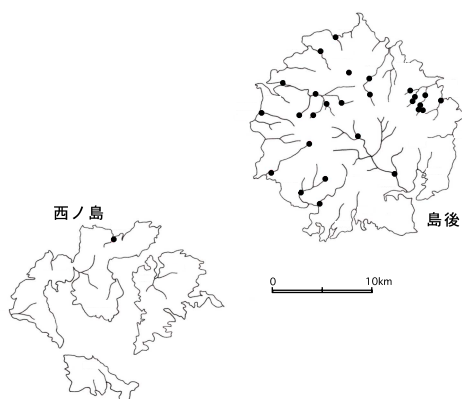


図4 隠岐諸島における調査地点 (●)

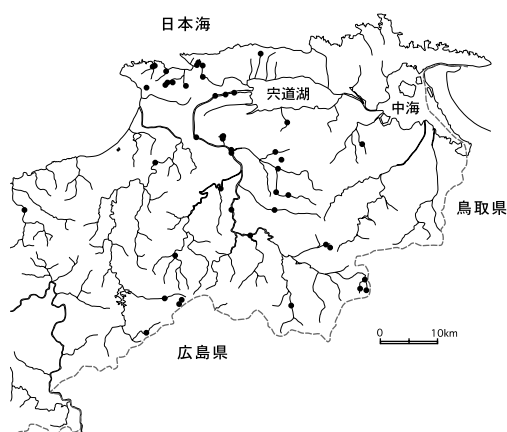


図5 県東部における調査地点 (●)

結 果

本調査で確認されたヒメドロムシ類は2科19種である。このうち、隠岐諸島から記録されたのは2科7種で、島根県初記録となるのは8種（隠岐初記録は5種）である。各種の分布記録については、隠岐諸島の【島後】と【西ノ島】、本土部については【島根半島】、【斐伊川水系】、【その他の水系】に分けた。その他の水系には、神戸川水系、静間川水系がある。また、県西部の高津川水系でも1地点のみであるが、ヒメドロムシ類を得ているのでここに加えた。採集者名は林を (H)、島田を (S) と略記した。島根県で採集したヒメドロムシ類の標本写真を図6、隠岐島後のおもな調査地点の写真を図7から10、県東部のおもな調査地点の写真を図11から18、いくつかの種の生態写真を図19から22に示した。

ドロムシ科 Dryopidae

1. ムナビロツヤドロムシ

Elmomorphus brevicornis brevicornis Sharp (図6A)

県東部・隠岐島後いずれでも確認された。隠岐島後では特に多い種であり、河川周辺の灯火にも多くの個体が飛来する。

【島後】1ex. 小路 小路川 9.VIII.2005 (H) ; 17exs. 郡川ダム 郡川 (灯火) 7.VIII.2004 (H) ; 12exs. 郡川ダム 郡川 (灯火) 7.VIII.2004 (S) ; 1ex. 中谷 春日川 (灯火) 30.VII.2004 (S) ; 1ex. 南谷支流の沢 (灯火) 26.VII.2004 (S) ;

23exs. 南谷 春日川 (灯火) 28.VII.2004 (S) ; 2exs. 南谷 春日川 (灯火) 9.VIII.2005 (H) ; 7exs. 南谷 春日川 (灯火) 9.VIII.2005 (S) ; 1ex. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S) ; 7exs. 上里 向山川 30.VIII.2005 (S) ; 3exs. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S)。

【島根半島】1ex. 出雲市猪目町猪目 猪目川 2.IX.2005 (H)。

【斐伊川水系】1ex. 出雲市奥宇賀町納木平田船川 15.III.2005 (H) ; 1ex. 雲南市三刀屋町粟谷 三刀屋川 (流木：図19) 9.IV.2005 (H)。

ヒメドロムシ科 Elmidae

2. ハバビロドロムシ

Dryopomorphus extraneus Hinton (図6B)

平田船川の源流部 (図11) で1頭のみを得た。隠岐諸島では確認されなかった。

【斐伊川水系】1ex. 出雲市万田町深山 深山川 (平田船川の源流) 3.V.2005 (H)。

3. イブシアシナガドロムシ

Stenelmis nipponica Nomura (図6C)

斐伊川水系の中流～下流域で確認された。隠岐諸島では確認されなかった。

【斐伊川水系】1ex. 出雲市島村町島村上 斐伊川 19.VI.2005 (H) ; 1ex. 出雲市西代町古川 浜井出水 18.VI.2005 (H) ; 3exs. 雲南市三代 三代橋 斐伊川 (灯火) 1.VIII.2005 (H) ; 25exs. 雲南市

表1 調査地点一覧

市町村	地 名	水系	河川名	標高	日付	旧町村名	メッシュコード
【西ノ島】							
西ノ島町	耳浦川下流	耳浦川水系	耳浦川	5	11. X. 2005		54331043
【島後】							
隠岐の島町	卯敷川下流	卯敷川水系	卯敷川	5	10. VIII. 2005	布施村	54333229
隠岐の島町	重栖川河口	重栖川水系	重栖川	0	10. VII. 2004	布施村	54333146
隠岐の島町	苗代田	重栖川水系	重栖川	10	30. VIII. 2005	五箇村	54333139
隠岐の島町	都万路	重栖川水系	小路川	60	20. VIII. 2005	五箇村	54333210
隠岐の島町	郡川ダム	重栖川水系	郡川	50	7. VIII. 2004	五箇村	54333231
隠岐の島町	郡川ダム	重栖川水系	郡川	50	9. VIII. 2005	五箇村	54333231
隠岐の島町	郡川ダム	重栖川水系	郡川	50	10. VIII. 2005	五箇村	54333231
隠岐の島町	那久路	重栖川水系	那久路川	75	30. VIII. 2005	五箇村	54333119
隠岐の島町	苗代田川最上流	重栖川水系	苗代田川	130	30. VIII. 2005	五箇村	54333118
隠岐の島町	小路	重栖川水系	小路川	20	9. VIII. 2005	五箇村	54333220
隠岐の島町	北谷	春日川水系	春日川	90	2. IX. 2005	布施村	54333236
隠岐の島町	中谷	春日川水系	春日川	65	30. VII. 2004	布施村	54333227
隠岐の島町	中谷上流部	春日川水系	春日川	100	9. VIII. 2005	布施村	54333226
隠岐の島町	中谷上流部	春日川水系	春日川	90	2. IX. 2005	布施村	54333226
隠岐の島町	南谷	春日川水系	春日川	160	9. VIII. 2005	布施村	54333217
隠岐の島町	南谷	春日川水系	春日川	160	9. VIII. 2005	布施村	54333217
隠岐の島町	南谷	春日川水系	春日川	40	10. VIII. 2005	布施村	54333227
隠岐の島町	南谷	春日川水系	春日川	210	19. VIII. 2005	布施村	54333217
隠岐の島町	南谷	春日川水系	春日川	165	28. VII. 2004	布施村	54333217
隠岐の島町	南谷支流の沢	春日川水系	春日川	225	26. VII. 2004	布施村	54333217
隠岐の島町	南谷支流の沢	春日川水系	春日川	160	10. VIII. 2005	布施村	54333217
隠岐の島町	上里	都万川水系	向山川	50	30. VIII. 2005	都万村	54332240
隠岐の島町	長尾田下流	長尾田川水系	長尾田川	5	19. VIII. 2005	五箇村	54333115
隠岐の島町	かぶら杉	中村川水系	中村川	140	21. VIII. 2005	西郷町	54333223
隠岐の島町	東谷	中村川水系	中村川	30	19. VIII. 2005	西郷町	54333253
隠岐の島町	壇鏡ノ滝	那久川水系	那久川	380	8. VIII. 2005	都万村	54332188
隠岐の島町	那久	那久川水系	那久川	10	8. VIII. 2005	都万村	54332156
隠岐の島町	西ノ浦川	西ノ浦水系	西ノ浦川	5	2. IX. 2005	西郷町	54333280
隠岐の島町	近石	八尾川水系	近石川	50	10. VIII. 2005	西郷町	54332292
隠岐の島町	原田	八尾川水系	八尾川	20	9. VIII. 2005	西郷町	54332273
隠岐の島町	久見川中流	久見川水系	久見川	35	19. VIII. 2005	五箇村	54333179
隠岐の島町	末路川下流	末路川水系	末路川	5	26. IX. 2005	都万村	54332129
隠岐の島町	山田 ため池			180	3. VIII. 2004	五箇村	54333251
【島根半島：斐伊川水系を除く】							
出雲市	猪目町猪目	猪目川水系	猪目川	5	2. IX. 2005	平田市	53321527
出雲市	別所町鰐淵寺駐車場	唐川川水系	鰐淵寺川	70	4. VI. 2005	平田市	53321610
出雲市	別所町鰐淵寺	唐川川水系	鰐淵寺川	100	9. IV. 2005	平田市	53321600
出雲市	唐川町後野河下浄水場	唐川川水系	唐川川	130	15. V. 2005	平田市	53321507
出雲市	唐川町後野韓釜神社	唐川川水系	唐川川	140	26. VI. 2005	平田市	53321507
出雲市	唐川町唐川	唐川川水系	鈴谷川	110	15. V. 2005	平田市	53321508
出雲市	唐川町唐川	唐川川水系	鈴谷川	110	30. X. 2005	平田市	53321508
出雲市	小津町小津	相代川水系	相代川	50	8. V. 2005	平田市	53321641
出雲市	小津町相代	相代川水系	相代川	130	8. V. 2005	平田市	53321661
出雲市	鷺浦	八千代川水系	八千代川	5	8. V. 2005	大社町	53321525
出雲市	鷺浦	八千代川水系	八千代川	10	8. V. 2005	大社町	53321514
出雲市	大社町奥谷	堀川水系	素鷺川	50	14. VIII. 2005	大社町	53320584
【斐伊川水系】							
松江市	東岩坂	斐伊川水系	東岩坂川	60	23. IV. 2005	八雲村	53330079
出雲市	小境町一畑	斐伊川水系	小境川	90	3. XI. 2005	平田市	53321790
出雲市	奥宇賀町納木	斐伊川水系	平田船川	10	15. III. 2005	平田市	53321622
出雲市	万田町深山	斐伊川水系	深山川	90	3. V. 2005	平田市	53321642
出雲市	万田町深山	斐伊川水系	深山川	90	29. X. 2005	平田市	53321642

島根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類

市町村	地 名	水系	河川名	標高	日付	旧町村名	メッシュコード
雲南市	下神原 八口橋	斐伊川水系	赤川	30	1. VIII. 2005	加茂町	53320700
雲南市	大東町中遠所	斐伊川水系	遠所川	40	29. IV. 2005	大東町	53320726
雲南市	大東町山田	斐伊川水系	山田川	60	29. IV. 2005	大東町	53320797
雲南市	大東町大東	斐伊川水系	赤川	40	16. IV. 2005	大東町	52327787
雲南市	大東町清久上組	斐伊川水系	阿用川	200	27. XI. 2005	大東町	52337040
雲南市	大東町清久下組 鮭神社	斐伊川水系	阿用川	110	27. XI. 2005	大東町	52327748
雲南市	大東町下久野	斐伊川水系	久野川	180	22. VI. 2005	大東町	52327708
出雲市	西代町古川	斐伊川水系	浜井出用水	4	15. VI. 2005	平田市	53321605
出雲市	西代町古川	斐伊川水系	浜井出用水	4	18. VI. 2005	平田市	53321605
出雲市	灘分町小島	斐伊川水系	浜井出用水	3	15. VI. 2005	平田市	53321617
斐川町	瑞穂大橋	斐伊川水系	斐伊川	3	27. VII. 2005		53321606
斐川町	瑞穂大橋	斐伊川水系	斐伊川	3	27. X. 2005		53321606
出雲市	島村町島村上	斐伊川水系	斐伊川	3	1. VIII. 2005	平田市	53321618
出雲市	島村町島村上	斐伊川水系	斐伊川	3	19. VI. 2005	平田市	53321618
出雲市	島村町島村上	斐伊川水系	斐伊川	3	2. XI. 2005	平田市	53321618
雲南市	三代 三代橋	斐伊川水系	斐伊川	50	1. VIII. 2005	加茂町	52327780
雲南市	木次町西日登引野	斐伊川水系	斐伊川	60	30. IV. 2005	木次町	52326791
雲南市	木次町西日登引野	斐伊川水系	斐伊川	60	24. VII. 2005	木次町	52326791
雲南市	木次町平田 平田橋	斐伊川水系	斐伊川	130	30. IV. 2005	木次町	52326755
雲南市	木次町尺の内公園	斐伊川水系	(人工川)	80	28. IV. 2005	木次町	52327773
雲南市	木次町尺の内公園	斐伊川水系	(人工川)	80	14. X. 2005	木次町	52327773
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	斐伊川 (赤川合流)	690	5. XI. 2005	横田町	52336114
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	斐伊川 (赤川合流)	690	23. XI. 2005	横田町	52336114
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	赤川 (船通山)	780	5. XI. 2005	横田町	52335195
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	赤川 (船通山)	780	23. XI. 2005	横田町	52335195
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	斐伊川 (源流部)	760	5. XI. 2005	横田町	52336104
奥出雲町	船通山	斐伊川水系	斐伊川 (源流部)	760	28. XI. 2005	横田町	52336104
斐川町	伊保	斐伊川水系	斐伊川沿い水路	20	14. IV. 2005		53320613
斐川町	細谷	斐伊川水系	細谷川	50	14. IV. 2005		53320627
斐川町	武部峠	斐伊川水系	細谷川の支流	130	14. IV. 2005		53320628
斐川町	武部峠～細谷	斐伊川水系	細谷川の支流	80	14. IV. 2005		53320628
雲南市	三刀屋町粟谷	斐伊川水系	三刀屋川	40	26. X. 2003	三刀屋町	52327629
雲南市	三刀屋町粟谷	斐伊川水系	三刀屋川	40	9. IV. 2005	三刀屋町	52327629
雲南市	掛合町八重滝	斐伊川水系	八重山川	320	28. V. 2005	掛合町	52325684
松江市	上来待	斐伊川水系	来待川	40	24. IV. 2005	宍道町	53320777
奥出雲町	大馬木	斐伊川水系	大馬木川	450	9. VIII. 2004	横田町	52335042
奥出雲町	亀嵩	斐伊川水系	亀嵩川	330	24. VIII. 2005	仁多町	52336067
奥出雲町	玉峰山	斐伊川水系	亀嵩川の支流	430	30. IV. 2005	仁多町	52336057
【その他の水系】							
飯南町	奥小田	神戸川水系	小田川	500	28. V. 2005	赤来町	52324622
出雲市	立久恵峡わかあゆの里	神戸川水系	神戸川	30	26. IV. 2005		52327548
出雲市	立久恵峡わかあゆの里	神戸川水系	神戸川	30	24. VII. 2005		52327548
飯南町	張戸橋	神戸川水系	頓原川	460	16. V. 2005	頓原町	52324694
飯南町	大万木山門坂谷	神戸川水系	頓原川の支流	650	16. V. 2005	頓原町	52325617
飯南町	大万木山位出谷	神戸川水系	頓原川の支流	700	16. V. 2005	頓原町	52325607
大田市	川合町吉永 尋牛橋	静間川水系	静間川	20	5. VI. 2005		52326400
吉賀町	伊豆原	高津川水系	福川川	200	11. X. 2005	柿木村	51315618

下神原 八口橋 赤川 (灯火) 1. VIII. 2005 (H) ;

1ex. 雲南市木次町尺の内公園 人工川 14. X. 2005

(H).

4. アシナガミゾドロムシ

Stenelmis vulgaris Nomura (図 6D)

斐伊川水系の中流～下流域で確認された。隠岐諸島では確認されなかった。

【斐伊川水系】1ex. 出雲市島村町島村上 斐伊川 1.VIII.2005 (H); 1ex. 出雲市西代町古川 浜井出水 15.VI.2005 (H); 1ex. 雲南市下神原 八口橋 赤川 (灯火) 1.VIII.2005 (H); 10exs. 斐川町瑞穂大橋 斐伊川 27.VII.2005 (H).

5. ミヤモトアシナガミゾドロムシ

Stenelmis miyamotoi Nomura et Nakane (図 6E)

島根県初記録である。斐伊川水系の下流域 (図 18) で確認された。隠岐諸島では確認されなかった。

【斐伊川水系】4exs. 出雲市島村町島村上 斐伊川 19.VI.2005 (H); 8exs. 斐川町瑞穂大橋 斐伊川 27.VII.2005 (H).

6. ゴトウミゾドロムシ

Ordobrevia gotoi Nomura (図 6F)

県東部・隠岐島後いずれでも確認された。今回の調査では、斐伊川水系から記録できなかった。

【島後】1ex. 郡川ダム 郡川 10.VIII.2005 (S); 5exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (S); 8exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (H); 1ex. 那久 那久川 8.VIII.2005 (H); 1ex. 南谷支流の沢 10.VIII.2005 (H); 1ex. かぶら杉 中村川 21.VIII.2005 (S); 2exs. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S); 1ex. 長尾田 長尾田川 19.VIII.2005 (S); 1ex. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S); 1ex. 末路川下流 26.IX.2005 (S).

【その他の水系】3exs. 出雲市立久恵峡わかあゆの里 神戸川 24.VII.2005 (H); 2exs. 吉賀町伊豆原 高津川水系・福川川 11.X.2005 (H).

7. アカモンミゾドロムシ

Ordobrevia maculata (Nomura) (図 6G)

島根県初記録である。県東部・隠岐島後いずれでも多い種である。県東部では河川の上流・原流域で多く見られる。

【西ノ島】7exs. 耳浦川下流 11.X.2005 (S).

【島後】16exs. 壇鏡滝 那久川 8.VIII.2005 (H); 5exs. 中谷上流部 春日川 9.VIII.2005 (H); 3exs. 中谷上流部 春日川 2.IX.2005 (S); 2exs. 郡川ダム 郡川 9.VIII.2005 (S); 20exs. 南谷 春日川 19.VIII.2005 (S); 2exs. 南谷支流

の沢 10.VIII.2005 (H); 1ex. かぶら杉 中村川 21.VIII.2005 (S); 7exs. 北谷 春日川 2.IX.2005 (S); 13exs. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S); 2exs. 長尾田 長尾田川 19.VIII.2005 (S); 1ex. 上里 向山川 30.VIII.2005 (S); 6exs. 苗代田 苗代田川 30.VIII.2005 (S).

【島根半島】3exs. 出雲市唐川町後野韓釜神社 唐川川 26.VI.2005 (H); 2exs. 出雲市唐川町唐川 唐川川水系・鈴谷川 15.V.2005 (H); 9exs. 出雲市小津町小津 相代川 8.V.2005 (H); 2exs. 出雲市小津町相代 相代川 8.V.2005 (H); 2exs. 出雲市別所町鰐淵寺 唐川川水系・鰐淵寺川 10.IV.2005 (H).

【斐伊川水系】11exs. 出雲市万田町深山 深山川 3.V.2005 (H); 9exs. 出雲市万田町深山 深山川 29.X.2005 (H); 1ex. 斐川町武部峠～細谷 細谷川の支流 14.IV.2005 (H); 4exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI.2005 (H); 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (源流部) 5.XI.2005 (H).

【その他の水系】1ex. 飯南町大万木山位出谷 神戸川水系・頓原川の支流 16.V.2005 (H); 1ex. 飯南町大万木山門坂谷 神戸川水系・頓原川の支流 16.V.2005 (H).

8. キスジミゾドロムシ

Ordobrevia foveicollis (Schonfeldt) (図 6H)

本土部での分布は河川の中～下流部に偏っているようだが、水中から得たのは斐伊川の1例のみである。隠岐島後では特に多い種であり、水中から普通に得られ、河川周辺の灯火にも多くの個体が飛来する。

【島後】9exs. 小路 小路川 9.VIII.2005 (H); 1ex. 郡川ダム 郡川 (灯火) 7.VIII.2004 (H); 1ex. 郡川ダム 郡川 (灯火) 9.VIII.2005 (S); 1ex. 都万路 小路川 (灯火) 20.VIII.2005 (S); 1ex. 中谷上流部 9.VIII.2005 (H); 1ex. 那久 那久川 8.VIII.2005 (H); 1ex. 南谷 春日川 (灯火) 9.VIII.2005 (H); 22exs. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S); 6exs. 苗代田 重栖川 30.VIII.2005 (S); 2exs. 重栖川河口 (灯火) 10.VII.2004 (S); 1ex. 山田 ため池 (灯火) 3.VIII.2004 (S).

【斐伊川水系】1ex. 雲南市下神原 八口橋 赤川

(灯火) 1.VIII.2005 (H); 1ex. 斐川町瑞穂大橋
斐伊川 27.VII.2005 (H).

9. ヨコミゾドロムシ

Leptelmis gracilis Sharp (図 6 I)

島根県初記録である。隠岐諸島では確認されなかった。本種は環境省 (2000) のレッドリストにおいて絶滅危惧 I 類 CR+EN とされている。

【斐伊川水系】 1ex. 出雲市島村町島村上 斐伊川 2.XI.2005 (H); 2exs. 斐川町瑞穂大橋 斐伊川 27.X.2005 (H).

10. アヤスジミゾドロムシ

Graphelmis shirahatai (Nomura) (図 6 J)

これまで中国地方からは報告されていない種であり、島根県初記録である。隠岐諸島では確認されなかった。

【斐伊川水系】 1ex. 斐川町瑞穂大橋 斐伊川 27.VII.2005 (H).

本種は近年、生息が確認されているのは愛知県の矢作川のみである (吉富ほか, 1999) が、矢作川でもこの数年間は発見されておらずその生息状況が危ぶまれている (吉富, 私信)。また、河川中・下流域の砂地の河床に生息している種とされる (吉富, 1996; 吉富ほか, 1999)。大量のマサ土が供給されている斐伊川下流域の斐伊川本流や河川敷の分流 (図 18)、周囲の用水路が、本種の生息に適した環境を形成している可能性があり、今後の調査が必要である。

11. セアカヒメドロムシ

Optioservus maculatus Nomura (図 6 K)

島根県初記録である。隠岐諸島では確認されなかった。いずれも斐伊川の源流域 (図 12) で採集された。

【斐伊川水系】 2exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI.2005 (H); 3exs. 奥出雲町船通山 赤川 (船通山) 5.XI.2005 (H); 1ex. 奥出雲町船通山 赤川 (船通山) 23.XI.2005 (H); 3exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (源流部) 5.XI.2005 (H).

12. ツヤヒメドロムシ

Optioservus nitidus Nomura (図 6 L)

県東部・隠岐島後いずれでも多い種であるが、本土部での分布は河川の上流部に偏っている。

【島後】 42exs. 小路 小路川 9.VIII.2005 (H); 4exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (H); 5exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (S); 1ex. 中谷 春日川 (灯火) 30.VII.2004 (S); 30exs. 中谷 上流部 9.VIII.2005 (H); 33exs. 中谷 上流部 春日川 2.IX.2005 (S); 17exs. 那久 那久川 8.VIII.2005 (H); 11exs. 南谷 春日川 10.VIII.2005 (H); 2exs. 南谷支流の沢 10.VIII.2005 (H); 1ex. 郡川 ダム 郡川 (灯火) 7.VIII.2004 (S); 4exs. 郡川 ダム 郡川 10.VIII.2005 (S); 1ex. 東谷 中村川 21.VIII.2005 (S); 5exs. かぶら杉 中村川 21.VIII.2005 (S); 89exs. 北谷 春日川 2.IX.2005 (S); 72exs. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S); 14exs. 西ノ浦川 2.IX.2005 (S); 106exs. 長尾田 長尾田川 19.VIII.2005 (S); 9exs. 上里 向山川 30.VIII.2005 (S); 120exs. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S); 4exs. 苗代田 重栖川 30.VIII.2005 (S); 2exs. 末路川下流 26.IX.2005 (S).

【斐伊川水系】 3exs. 大東町清久上組 阿用川 27.XI.2005 (H); 6exs. 大東町清久下組 鮭神社 阿用川 27.XI.2005 (H); 12exs. 雲南市掛合町八重滝 八重山川 28.V.2005 (H); 2exs. 雲南市大東町下久野 久野川 22.VI.2005 (H); 2exs. 奥出雲町亀嵩 亀嵩川 24.VIII.2005 (H); 1ex. 奥出雲町大馬木 大馬木川 . VIII.2004 (H); 2exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 5.XI.2005 (H); 2exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI.2005 (H).

【その他の水系】 9exs. 飯南町奥小田 神戸川水系・小田川 28.V.2005 (H); 24exs. 飯南町張戸橋 神戸川水系・頓原川 16.V.2005 (H); 1ex. 大田市川合町吉永 尋牛橋 静間川水系・静間川 5.VI.2005 (H).

13. キベリナガアシドロムシ

Grouvellinus marginatus (Kono) (図 6 M)

県東部で確認された。本種とツヤナガアシドロムシは、前胸背板の形状に違いがあるとされるが

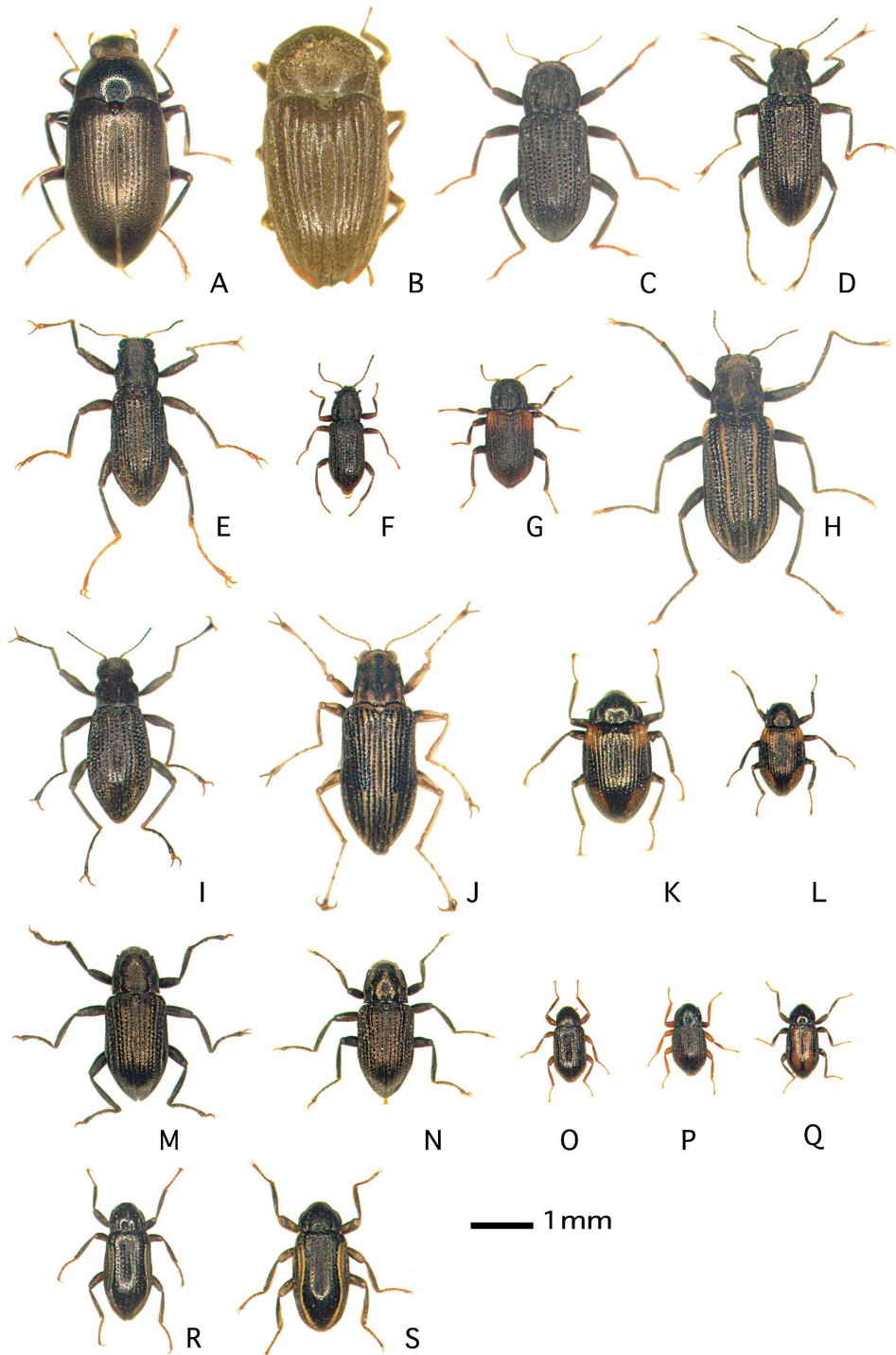


図6 島根県産ヒメドロムシ類。スケールは共通。

A, ムナビロツヤドロムシ; B, ハバビロドロムシ; C, イブシアシナガドロムシ; D, アシナガミゾドロムシ; E, ミヤモトアシナガミゾドロムシ; F, ゴトウミゾドロムシ; G, アカモンミゾドロムシ; H, キスジミゾドロムシ; I, ヨコミゾドロムシ; J, アヤスジミゾドロムシ; K, セアカヒメドロムシ; L, ツヤヒメドロムシ; M, キベリナガアシドロムシ; N, ツヤナガアシドロムシ; O, ホソヒメツヤドロムシ; P, マルヒメツヤドロムシ; Q, ヒメツヤドロムシ; R, アワツヤドロムシ; S, ミゾツヤドロムシ。

(例えば、佐藤, 1985), その区別は容易ではない. 次種よりも下流側に生息するようである.

【島根半島】1ex. 出雲市唐川町唐川 唐川川水系・鈴谷川 15.V.2005 (H).

【斐伊川水系】16exs. 雲南市三代 三代橋 斐伊川 (灯火) 1.VIII.2005 (H); 23exs. 雲南市下神原 八口橋 赤川 (灯火) 1.VIII.2005 (H); 3exs. 雲南市木次町西日登引野 斐伊川 24.VII.2005 (H).

【その他の水系】1ex. 出雲市立久恵峡わかあゆの里 神戸川 24.VII.2005 (H).

14. ツヤナガアシドロムシ

Grouvellinus nitidus Nomura (図 6N)

県東部・隠岐島後の両地域で確認された. キベリナガアシドロムシに比べて上流側に生息するようである. また, 本種の体表には泥のような物質が厚く覆っていることがあり, 前種との識別をより困難にしている.

【島後】1ex. 小路 小路川 9.VIII.2005 (H); 1ex. 中谷 春日川 (灯火) 30.VII.2004 (S); 2exs. 中谷上流部 春日川 9.VIII.2005 (H); 6exs. 中谷上流部 春日川 2.IX.2005 (S); 1ex. 南谷 春日川 10.VIII.2005 (H); 4exs. 南谷支流の沢 10.VIII.2005 (H); 1ex. 近石 近石川 10.VIII.2005 (S); 2exs. 東谷 中村川 21.VIII.2005 (S); 45exs. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S); 13exs. 上里 向山川 30.VIII.2005 (S); 9exs. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S); 1ex. 苗代田 重栖川 30.VIII.2005 (S).

【島根半島】2exs. 出雲市大社町奥谷 堀川水系・素鷲川 14.VIII.2005 (H).

【斐伊川水系】2exs. 雲南市掛合町八重滝 八重山川 28.V.2005 (H); 10exs. 雲南市大東町下久野 久野川 22.VI.2005 (H).

15. ホソヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria gotoi (Nomura) (図 6O)

島根県初記録である. 県東部, 隠岐島後いずれでも多い種である. 河川上流から中流部でよくみられるが, 体長が1 mm 程度であるため, これまで見落とされてきたものと思われる.

【西ノ島】122exs. 耳浦川下流 11.X.2005 (S).

【島後】2exs. 卯敷 卯敷川下流 10.VIII.2005 (H); 6exs. 小路 小路川 9.VIII.2005 (H); 3exs. 壇鏡滝 那久川 8.VIII.2005 (H); 8exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (H); 15exs. 近石 近石川 10.VIII.2005 (S); 24exs. 中谷上流部 9.VIII.2005 (H); 23exs. 中谷上流部 2.IX.2005 (S); 1ex. 那久 那久川 8.VIII.2005 (H); 2exs. 南谷 春日川 10.VIII.2005 (H); 5exs. 南谷 春日川 19.VIII.2005 (S); 7exs. 南谷 支流の沢 10.VIII.2005 (H); 39exs. 郡川ダム 郡川 10.VIII.2005 (S); 15exs. かぶら杉 中村川 21.VIII.2005 (S); 2exs. 北谷 春日川 2.IX.2005 (S); 32exs. 那久路 那久路川 30.VIII.2005 (S); 15exs. 西ノ浦川 2.IX.2005 (S); 23exs. 長尾田 長尾田川 19.VIII.2005 (S); 1exs. 上里 向山川 30.VIII.2005 (S); 2exs. 久見 久見川 19.VIII.2005 (S); 28exs. 末路川下流 26.IX.2005 (S).

【島根半島】3exs. 出雲市鷺浦 八千代川 8.V.2005 (H); 9exs. 出雲市鷺浦 八千代川 8.V.2005 (H); 2exs. 出雲市猪目町猪目 猪目川 2.IX.2005 (H); 5exs. 出雲市唐川町後野河下浄水場 唐川川 15.V.2005 (H); 4exs. 出雲市唐川町後野河下浄水場 唐川川 15.V.2005 (H); 3exs. 出雲市唐川町唐川 唐川川水系・鈴谷川 15.V.2005 (H); 4exs. 出雲市別所町鰐淵寺 唐川川水系・鰐淵寺川 10.IV.2005 (H); 9exs. 出雲市小津町小津 相代川 8.V.2005 (H).

【斐伊川水系】7exs. 雲南市掛合町八重滝 八重山川 28.V.2005 (H); 4exs. 大東町清久上組 阿用川 27.XI.2005 (H); 5exs. 雲南市大東町下久野 久野川 22.VI.2005 (H); 1ex. 雲南市三刀屋町栗谷 三刀屋川 26.X.2003 (H); 1ex. 雲南市木次町西日登引野 斐伊川 30.IV.2005 (H); 1ex. 奥出雲町玉峰山 亀嵩川の支流 30.IV.2005 (H); 2exs. 奥出雲町大馬木 大馬木川 9.VIII.2004 (H); 1ex. 斐川町細谷 細谷川 14.IV.2005 (H); 4exs. 斐川町細谷 細谷川 14.IV.2005 (H); 1ex. 松江市上来待 来待川 24.IV.2005 (H); 9exs. 松江市東岩坂 東岩坂川 23.IV.2005 (H); 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 5.XI.2005 (H); 2exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI.2005 (H); 1ex. 奥出雲町船通山 赤川 (船通山) 5.XI.2005

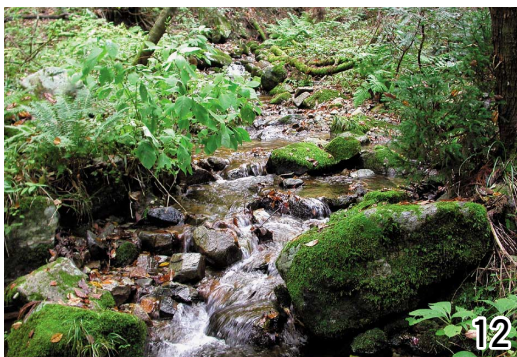
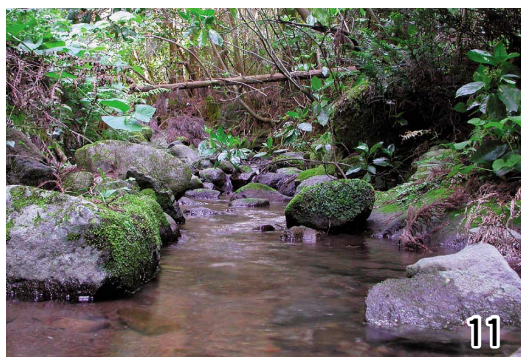


図 7 近石川（島後）2005.8.10.

図 9 八尾川（島後）2005.8.9.

図 11 深山川（出雲市）2005.5.3.

図 13 小田川（奥出雲町）2005.5.28.

図 8 小路川（島後）2005.8.9.

図 10 那久川（島後）2005.8.8.

図 12 斐伊川源流（船通山）2005.11.5.

図 14 久野川（雲南市）2005.6.22.



15



16



17



18



19



20



21



22

図 15 斐伊川（木次町西日登）2005. 4. 30.

図 17 用水路（出雲市西代町）2005. 6. 18.

図 19 ムナビロツヤドロムシ（三刀屋川）2005. 4. 9.

図 21 ヨコミゾドロムシ（斐伊川）2005. 10. 27.

図 16 オオカナダモの繁茂する水路(斐川町)2005. 4. 14.

図 18 斐伊川下流（斐川町瑞穂大橋）2005. 7. 27.

図 20 アカモンミゾドロムシ（深山川）2005. 5. 3.

図 22 ミゾツヤドロムシ（鰐淵寺川）2005. 6. 2.

(H) ; 2exs. 奥出雲町船通山 赤川 (船通山) 5. XI. 2005 (H).

【その他の水系】 7exs. 飯南町張戸橋 神戸川水系・頓原川 16.V. 2005 (H) ; 6exs. 吉賀町伊豆原 高津川水系・福川川 11.X. 2005 (H).

16. マルヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria ovata (Nomura) (図 6P)

島根県初記録である。河川上流から中流部でよくみられるが、体長が 1 mm 程度であるため、これまで見落とされてきたものと思われる。

【島根半島】 6exs. 出雲市唐川町唐川 唐川川水系・鈴谷川 15.V. 2005 (H) ; 17exs. 出雲市小津町小津相代川 8.V. 2005 (H) ; 18exs. 出雲市小津町相代相代川 8.V. 2005 (H) ; 1ex. 出雲市別所町鰐淵寺駐車場 唐川川水系・鰐淵寺川 4.VI. 2005 (H).

【斐伊川水系】 1ex. 出雲市奥宇賀町納木 平田船川 15.III. 2005 (H) ; 3exs. 出雲市小境町一畑 小境川 3.XI. 2005 (H) ; 24exs. 出雲市万田町深山深山川 3.V. 2005 (H) ; 10exs. 出雲市万田町深山深山川 29.X. 2005 (H) ; 7exs. 雲南市大東町中遠所 遠所川 29.IV. 2005 (H) ; 1exs. 雲南市三刀屋町栗谷 三刀屋川 9.IV. 2005 (H) ; 2exs. 奥出雲町亀嵩 亀嵩川 24.VIII. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町玉峰山 亀嵩川の支流 30.IV. 2005 (H) ; 2exs. 斐川町武部峠 細谷川の支流 14.IV. 2005 (H) ; 5exs. 斐川町武部峠～細谷 細谷川の支流 14.IV. 2005 (H) ; 19exs. 斐川町細谷 細谷川 14.IV. 2005 (H) ; 3exs. 松江市上来待 来待川 24.IV. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 5.XI. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (源流部) 5.XI. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (源流部) 28.XI. 2005 (H).

【その他の水系】 1ex. 大田市川合町吉永 尋牛橋 静間川水系・静間川 5.VI. 2005 (H).

17. ヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria brevis (Nomura) (図 6Q)

隠岐諸島では確認されなかった。中流域で確認され、カナダモ類の繁茂する流れのある水路 (図 16) にも生息している。

【斐伊川水系】 2exs. 雲南市大東町大東 赤川 16.

IV. 2005 (H) ; 6exs. 雲南市大東町中遠所 遠所川 29.IV. 2005 (H) ; 1ex. 雲南市大東町山田 山田川 29.IV. 2005 (H) ; 6exs. 大東町清久上組 阿用川 27.XI. 2005 (H) ; 1ex. 大東町清久下組 鮭神社 阿用川 27.XI. 2005 (H) ; 1ex. 雲南市三刀屋町栗谷 三刀屋川 9.IV. 2005 (H) ; 2exs. 雲南市木次町尺の内公園 人工川 28.IV. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町亀嵩 亀嵩川 24.VIII. 2005 (H) ; 8exs. 斐川町伊保 斐伊川沿い水路 14.IV. 2005 (H) ; 2exs. 斐川町細谷 細谷川 14.IV. 2005 (H) ; 7exs. 松江市上来待 来待川 24.IV. 2005 (H) ; 1ex. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI. 2005 (H).

18. アワツヤドロムシ

Zaitzevia awana (Kono) (図 6R)

隠岐諸島では確認されなかった。とりわけ河川中流部の瀬で多く見られるが、斐伊川下流部の分流や用水路などでも確認された。溪流では次種のミゾツヤドロムシが生息しており、本種は確認されなかった。

【斐伊川水系】 1ex. 出雲市小境町一畑 小境川 3.XI. 2005 (H) ; 1ex. 出雲市灘分町小島 浜井出用水 15.VI. 2005 (H) ; 2exs. 出雲市西代町古川 浜井出用水 18.VI. 2005 (H) ; 4exs. 雲南市三代 三代橋 斐伊川 (灯火) 1.VIII. 2005 (H) ; 67exs. 雲南市下神原 八口橋 赤川 (灯火) 1.VIII. 2005 (H) ; 7exs. 雲南市木次町西日登引野 斐伊川 30.IV. 2005 (H) ; 6exs. 雲南市木次町西日登引野 斐伊川 24.VII. 2005 (H) ; 5exs. 雲南市木次町平田 平田橋 斐伊川 30.IV. 2005 (H) ; 6exs. 大東町清久上組 阿用川 27.XI. 2005 (H) ; 11exs. 大東町清久下組 鮭神社 阿用川 27.XI. 2005 (H) ; 12exs. 雲南市大東町下久野 久野川 22.VI. 2005 (H) ; 4exs. 雲南市大東町中遠所 遠所川 29.IV. 2005 (H) ; 4exs. 雲南市三刀屋町栗谷 三刀屋川 9.IV. 2005 (H) ; 12exs. 雲南市三刀屋町栗谷 三刀屋川 26.X. 2003 (H) ; 2exs. 雲南市掛合町八重滝 八重山川 28.V. 2005 (H) ; 3exs. 斐川町細谷 細谷川 14.IV. 2005 (H) ; 1ex. 松江市東岩坂 東岩坂川 23.IV. 2005 (H).

【その他の水系】 2exs. 出雲市立久恵峡わかあゆの里 神戸川 26.IV. 2005 H. Nakano leg. ; 9exs.

出雲市立久恵峡わかあゆの里 神戸川 24.VII.2005 (H); 6exs. 大田市川合町吉永 尋牛橋 静間川 5.VI.2005 (H); 5exs. 吉賀町伊豆原 高津川水系・福川川 11.X.2005 (H).

19. ミゾツヤドロムシ

Zaitzevia rivalis Nomura (図 6S)

隠岐諸島では確認されなかった。島根半島の鰐淵寺川など河川上流部に多い種である。

【島根半島】2exs. 出雲市猪目町猪目 猪目川 2.IX.2005 (H); 3exs. 出雲市唐川町後野韓釜神社 唐川川 26.VI.2005 (H); 6exs. 出雲市唐川町後野河下浄水場 唐川川 15.V.2005 (H); 6exs. 出雲市唐川町唐川 唐川川水系・鈴谷川 15.V.2005 (H); 7exs. 出雲市別所町鰐淵寺 唐川川水系・鰐淵寺川 9.IV.2005 (H); 5exs. 出雲市別所町鰐淵寺駐車場 唐川川水系・鰐淵寺川 4.VI.2005 (H); 7exs. 出雲市小津町小津 相代川 8.V.2005 (H).

【斐伊川水系】1ex. 雲南市大東町下久野 久野川 22.VI.2005 (H); 4exs. 雲南市大東町中遠所 遠所川 29.IV.2005 (H); 4exs. 雲南市掛合町八重滝 八重山川 28.V.2005 (H); 3exs. 奥出雲町大馬木 大馬木川 9.VIII.2004 (H); 3exs. 奥出雲町船通山 斐伊川 (赤川合流点) 23.XI.2005 (H).

【その他の水系】34exs. 飯南町張戸橋 神戸川水系・頓原川 16.V.2005 (H).

考 察

ヒメドロムシ相の特徴

本調査地域のヒメドロムシ相について考察を行う。今回の調査で本土部からは19種、隠岐諸島からは7種を確認した(表2)。隠岐の7種はすべて本土でも確認されている。

まず本土部についてであるが、河川の上流から下流への環境の変化により、ヒメドロムシ相は大きく変化する。上流部に生息域が偏っている種として、ハバビロドロムシ、アカモンミゾドロムシ、セアカヒメドロムシ、ツヤヒメドロムシ、ホソヒメツヤドロムシ、マルヒメツヤドロムシ、ミゾツヤドロムシがあげられる。これらの種は溪流的な環境や源流部の環境に適応しているものと考えられる。この中でツヤドロムシ類では、上流にミゾ

ツヤドロムシ、中・下流にアワツヤドロムシが生息している。一方、下流域に生息域が偏っている種としてはイブシアシナガドロムシ、ミヤモトアシナガドロムシ、アシナガドロムシ、キスジミゾドロムシ、ヨコミゾドロムシ、アヤスジミゾドロムシがいる。下流域にはヨコミゾドロムシやアヤスジミゾドロムシといった希少な種が生息しており、注目される。その他の種は中流域が主な生息域である。

次に隠岐諸島であるが、島前の西ノ島からは2種のみが確認された。島後では7種が確認され、若干は未記録の種があるかもしれない。記録された種はいずれも個体数は少なくなく、とりわけムナビロツヤドロムシとキスジミゾドロムシは灯火にもよく飛来する種である。本土部での生息環境を比較すると中流域を中心として、上流から下流までさまざまな生息域をもつ種が島後に生息している。島後の河川のほとんどは礫の多い河川であり、本土の上流的な環境の河川がほとんどである。つまり、島後のヒメドロムシ相の特徴として、本土部の下流域に生息するような種が上流的な環境に進出していることが指摘できる。例えば、キスジミゾドロムシは本土部では中・下流に生息し、熱帯魚用ネットではほとんど採集することができない。しかし、島後では流れのある溪流や瀬にも生息しているため、熱帯魚用ネットでも十分採集が可能である。

隠岐島後のヒメドロムシ相の形成過程

最後に隠岐島後のヒメドロムシ相の形成過程について一つの仮説を立てたい。隠岐諸島は最終氷期の最寒冷期には本土部と陸続きであったが、その後の温暖化により海面が上昇して隠岐海峡が形成したとされている(大嶋, 1990, 1991)。隠岐諸島が本土の一部であった時代には、現在の本土部に生息している種の多くが隠岐諸島にも生息していたと考えられる。また、海水面が低かった時代には、陸域が広がるため、隠岐諸島の河川にも下流的な環境が形成されていたはずである。しかし、海面上昇の過程で下流的な環境は海面上昇、とりわけ現在よりも海面が高かった時期にいちじるしく縮小し、これにより下流域をおもな生息域とし

表2 島根県産ヒメドロムシ類分布表

和 名	学 名	本 土			隠 岐
		上流	中流	下流	
ドロムシ科					
1 ムナビロツヤドロムシ	<i>Elmomorphus brevicornis brevicornis</i> Sharp		○		○
ヒメドロムシ科					
2 ハバビロドロムシ	<i>Dryopomorphus extraneus</i> Hinton	○			
3 イブシアシナガドロムシ	<i>Stenelmis nipponica</i> Nomura		○	○	
4 アシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis vulgaris</i> Nomura			○	
5 ミヤモトアシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis miyamotoi</i> Nomura et Nakane			○	
6 キスジミゾドロムシ	<i>Ordobrevia foveicollis</i> (Schonfeldt)		○	○	○
7 ゴトウミゾドロムシ	<i>Ordobrevia gotoi</i> Nomura		○		○
8 アカモンミゾドロムシ	<i>Ordobrevia maculata</i> (Nomura)	○	○		○
9 ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i> Sharp			○	
10 アヤスジミゾドロムシ	<i>Graphelmis shirahatai</i> (Nomura)			○	
11 セアカヒメドロムシ	<i>Optioservus maculatus</i> Nomura	○			
12 ツヤヒメドロムシ	<i>Optioservus nitidus</i> Nomura	○	○		○
13 キベリナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus marginatus</i> (Kono)		○		
14 ツヤナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus nitidus</i> Nomura	○	○		○
15 ホソヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria gotoi</i> (Nomura)	○	○		○
16 マルヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria ovata</i> (Nomura)	○	○		
17 ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i> (Nomura)		○		
18 アワツヤドロムシ	<i>Zaitzevia awana</i> (Kono)		○	○	
19 ミゾツヤドロムシ	<i>Zaitzevia rivalis</i> Nomura	○			
20 ヒメハバビロドロムシ	<i>Dryopomorphus nakanei</i> Nomura		文献記録		—
21 クロサワドロムシ	<i>Neorihelmis kurosawai</i> Nomura		文献記録		—
22 ケスジドロムシ	<i>Pseudamophilus japonicus</i> Nomura		文献記録		—
24 ツヤドロムシ	<i>Zaitzevia nitida</i> Nomura		文献記録		—

ていた種は絶滅した。また、上・中流域の種も狭い離島の河川に閉じこめられ、多くの種は生態的な地位を他種に奪われた。特に本土部の上・中流域に普通にみられる種のうちマルヒメツヤドロムシ、アワツヤドロムシ、ミゾツヤドロムシは、現在の島後にも良好な生息環境があるにも関わらず生息していないことから、生き残ることができなかった代表的な種であるとみられる。この結果、現在の7種が生き残り、もともと下流域を生活の場としていたキスジミゾドロムシは上流的な環境へと進出して現在に至っていると推定された。

謝 辞

本報告を執筆するにあたり、吉富博之博士からはヒメドロムシ類について多くのご教示を得た。中島 淳氏にはキベリアシナガドロムシとツヤナガアシドロムシの区別についてご教示をいただいた。秋山美文・藤本博文氏からは文献や情報のご提供をいただき、中野浩史氏には調査にご協力いただいた。これらの方々に厚くお礼申し上げます。

文 献

- 秋山美文 (2005) 広島県のヒメドロムシ科。比和科学博物館研究報告, (44): 205-219, 3pls.
- 馬場金太郎 (1991) 珍採集あれこれ (1) 手ぶら採集。『昆虫採集学』: 279. 九州大学出版会。
- 門脇久志 (2001) 中根猛彦博士同定の隠岐の甲虫類。すかしば, (49): 39-55.
- 鍵野順一・星川和夫 (2000) 「近自然工法」による人工河床における水生昆虫群集の特徴—近傍の自然河床との比較から—。ホシザキグリーン財団研究報告, (4): 73-94.
- 環境省 (2000) 昆虫類レッドリスト。平成 14 年 4 月 12 日公表。
- 片岡大輔・北村憲二・星川和夫 (1999) 斐伊川支流・阿用川の水生昆虫相、特に河床に埋没した人工芝に形成された群集の特徴について。ホシザキグリーン財団研究報告, (3): 173-194.
- 松田 賢・中村慎吾 (1999) 島根県高津川の昆虫類。ホシザキグリーン財団研究報告, (3): 57-119.

中村慎吾・亀山 剛・片山舜輔 (2001) 江の川の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5): 17-114.
 中村慎吾・松田 賢 (2005) 島根県高津川の昆虫類, 2000 年の調査結果. ホシザキグリーン財団研究報告, (8): 99-172.
 尾原和夫・三島秀夫・淀江賢一郎 (2001) 島根県佐田町高津屋農道の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5): 139-160.
 大嶋和雄 (1990) 第四紀後期の海峡形成史. 第四紀研究, 29(3): 193-208.
 大嶋和雄 (1991) 第四紀後期における日本列島周

辺の海水準変動. 地学雑誌, 100(6): 967-975.
 佐藤正孝 (1985) ヒメドロムシ科 Elmidae. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編), 「原色日本甲虫図鑑 II」: 434-440. 保育社.
 淀江賢一郎・星川和夫・斉藤光男・門脇久志・尾原和夫 (1998) 島根県斐伊川水系の昆虫類 (1997 年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告, (2): 7-86.
 吉富博之 (1996) アヤスジミゾドロムシの採集記録. 甲虫ニュース, (116): 6.
 吉富博之・白金晶子・疋田直之 (1999) 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.

島根県産ヒメドロムシ類仮目録

本研究および文献から現時点で記録のある 23 種をリストアップした. 筆者らが実際に生息を確認できた種名に * 印を付した.

ドロムシ科 Dryopidae

1. ムナビロツヤドロムシ*

Elmormorphus brevicornis brevicornis Sharp

ヒメドロムシ科 Elmidae

2. ハバビロドロムシ* *Dryopomorphus extraneus* Hinton

3. ヒメハバビロドロムシ

Dryopomorphus nakanei Nomura

4. イブシアシナガドロムシ*

Stenelmis nipponica Nomura

5. アシナガミゾドロムシ* *Stenelmis vulgaris* Nomura

6. ミヤモトアシナガミゾドロムシ*

Stenelmis miyamotoi Nomura et Nakane

7. ゴトウミゾドロムシ* *Ordobrevia gotoi* Nomura

8. アカモンミゾドロムシ*

Ordobrevia maculata (Nomura)

9. キスジミゾドロムシ*

Ordobrevia foveicollis (Schonfeldt)

10. ヨコミゾドロムシ* *Leptelmis gracilis* Sharp

11. アヤスジミゾドロムシ*

Graphelmis shirahatai (Nomura)

12. クロサワドロムシ *Neorihelmis kurosawai* Nomura

13. セアカヒメドロムシ* *Optioservus maculatus* Nomura

14. ツヤヒメドロムシ* *Optioservus nitidus* Nomura

15. ケスジドロムシ *Pseudamophilus japonicus* Nomura

16. キベリナガアシドロムシ*

Grouvellinus marginatus (Kono)

17. ツヤナガアシドロムシ* *Grouvellinus nitidus* Nomura

18. ホソヒメツヤドロムシ*

Zaitzeviaria gotoi (Nomura)

19. マルヒメツヤドロムシ*

Zaitzeviaria ovata (Nomura)

20. ヒメツヤドロムシ* *Zaitzeviaria brevis* (Nomura)

21. アワツヤドロムシ* *Zaitzevia awana* (Kono)

22. ツヤドロムシ *Zaitzevia nitida* Nomura

23. ミゾツヤドロムシ* *Zaitzevia rivalis* Nomura

【記録から削除】

一. ツブスジドロムシ

Paramacronychus granulatus Nomura

中村ほか (2001) による江の川の記録は誤同定である (秋山, 私信).

一. ノムラヒメドロムシ

Nomuraelmis amamiensis M.Sato

片岡ほか (1999) により記録されているが, 本種は奄美大島・沖縄島のみから知られており, 誤同定と判断した.

付表 島根県産ヒメドロムシ類文献記録集

産 地	標高(m)	頭数	採集日	文 献	備 考
ドロムシ科 Dryopidae					
ムナビロツヤドロムシ <i>Elmormorphus brevicornis brevicornis</i> Sharp					
大東町塩田 阿用川 St.A	300	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	
大東町箱淵 阿用川 St.B	220	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.10.28	鍵野・星川 (2000)	幼虫
佐田町高津屋農道	—	5	2000.7.28	尾原ほか (2001)	灯火採集
桜江町川越 St.2	—	1	1999.5.12	中村ほか (2001)	
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	1	2000.5.7	中村・松田 (2005)	灯火採集
ヒメドロムシ科 Elmidae					
ハバビロドロムシ <i>Dryopomorphus extraneus</i> Hinton					
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	1	1998.3.27	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	2	1998.7.29	鍵野・星川 (2000)	
ヒメハバビロドロムシ <i>Dryopomorphus nakanei</i> Nomura					
大東町箱淵 阿用川 St.B	220	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	
イブシアシナガドロムシ <i>Stenelmis nipponica</i> Nomura					
佐田町高津屋農道	—	1	2000.7.28	尾原ほか (2001)	灯火採集
江津市長田 St.1	—	1	1999.8.12	中村ほか (2001)	
桜江町川越 St.2	—	1	1999.8.11	中村ほか (2001)	
川本町因原 St.3	—	3	1999.8.11	中村ほか (2001)	
邑智町浜原 St.4	—	2	1999.8.10	中村ほか (2001)	
羽須美村引城 St.6	—	1	1999.8.9	中村ほか (2001)	
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	1	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	1	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	2	2000.7.27	中村・松田 (2005)	灯火採集
アシナガミゾドロムシ <i>Stenelmis vulgaris</i> Nomura					
赤来町奥小田 Loc.3 小田川	640	1	1998.1.30	鍵野・星川 (2000)	
出雲市上島町寺谷川合流点 St.9 (寺谷川)	—	2	1997.9.29	淀江ほか (1998)	灯火採集
出雲市船津町山田橋 St.8 (山田橋)	—	11	1997.7.24	淀江ほか (1998)	灯火採集
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	1	1998.1.20	鍵野・星川 (2000)	
斐川町鳥居 St.7 (西代橋)	—	1	1997.7.22	淀江ほか (1998)	灯火採集
川本町因原 St.3	—	1	1999.8.11	中村ほか (2001)	
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	1	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	1	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	5	1995.7.27	松田・中村 (1999)	
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	2	2000.7.27	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	20	1995.7.28	松田・中村 (1999)	
キスジミゾドロムシ <i>Ordobrevia foveicollis</i> (Schonfeldt)					
隠岐島後：西郷町西郷	—	1	1966.7.24	門脇 (2001)	
出雲市上島町寺谷川合流点 St.9 (寺谷川)	—	9	1997.9.29	淀江ほか (1998)	灯火採集
出雲市船津町山田橋 St.8 (山田橋)	—	3	1997.7.24	淀江ほか (1998)	灯火採集
木次町下熊谷 St.10 (下熊谷床止)	—	1	1997.7.23	淀江ほか (1998)	灯火採集
川本町因原 St.3	—	10	1999.8.11	中村ほか (2001)	
羽須美村引城 St.6	—	1	1999.8.9	中村ほか (2001)	
益田市高津町 St.1 (高津町)	—	1	1995.7.26	松田・中村 (1999)	
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	6	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	2	1995.7.28	松田・中村 (1999)	
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	1	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	3	1995.7.27	松田・中村 (1999)	
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	5	1995.7.28	松田・中村 (1999)	
ゴトウミゾドロムシ <i>Ordobrevia gotoi</i> Nomura					
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	1	1998.3.27	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	1	1998.10.28	鍵野・星川 (2000)	
クロサワドロムシ <i>Neoriohelmis kurosawai</i> Nomura					
大東町塩田 阿用川 St.A	300	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	1	1998.8.20	鍵野・星川 (2000)	

島根県東部および隠岐諸島のヒメドロムシ類

産 地	標高(m)	頭数	採集日	文 献	備 考
ケスジドロムシ <i>Pseudamophilus japonicus</i> Nomura					
大東町塩田 阿用川 St.A	300	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	
佐田町高津屋農道	—	1	2000.6.3	尾原ほか (2001)	灯火採集
キベリナガアシドロムシ <i>Grouvellinus marginatus</i> (Kono)					
赤来町奥小田 Loc.3 小田川	640	1	1998.7.30	鍵野・星川 (2000)	
ツヤナガアシドロムシ <i>Grouvellinus nitidus</i> Nomura					
出雲市上島町寺谷川合流点 St.9 (寺谷川)	—	1	1997.9.29	淀江ほか (1998)	灯火採集
大東町上久野 Loc.1 長谷川	390	—	1998.4.23	鍵野・星川 (2000)	
益田市高津町 St.1 (高津町)	—	1	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	4	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	1	1995.7.28	松田・中村 (1999)	
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	1	2000.7.27	中村・松田 (2005)	灯火採集
ヒメツヤドロムシ <i>Zaitzeviaria brevis</i> (Nomura)					
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.4.23	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.8.20	鍵野・星川 (2000)	
アワツヤドロムシ <i>Zaitzevia awana</i> (Kono)					
羽須美村引城 St.6	—	2	1999.8.9	中村ほか (2001)	
益田市高津町 St.1 (高津町)	—	1	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	4	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	3	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市神田町 St.4 (神田町)	—	6	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	5	2000.7.27	中村・松田 (2005)	灯火採集
ツヤドロムシ <i>Zaitzevia nitida</i> Nomura					
木次町下熊谷 St.10 (下熊谷床止)	—	1	1997.7.23	淀江ほか (1998)	灯火採集
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.4.23	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.6.24	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	2	1998.7.29	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.8.20	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.9.25	鍵野・星川 (2000)	
大東町上久野 Loc.2 長谷川	360	1	1998.10.28	鍵野・星川 (2000)	
羽須美村引城 St.6	—	1	1999.8.9	中村ほか (2001)	
益田市安富町 St.2 (安富町)	—	1	2000.7.28	中村・松田 (2005)	灯火採集
益田市向横田町 St.3 (向横田町)	—	5	2000.7.29	中村・松田 (2005)	灯火採集
ミゾツヤドロムシ <i>Zaitzevia rivalis</i> Nomura					
赤来町奥小田 Loc.3 小田川	640	1	1998.7.30	鍵野・星川 (2000)	
益田市虫追町 St.5 (虫追町)	—	2	2000.7.27	中村・松田 (2005)	灯火採集
ツブスジドロムシ <i>Paramacronychus granulatus</i> Nomura					
川本町因原 St.3	—	1	1999.8.12	中村ほか (2001)	誤同定
ノムラヒメドロムシ <i>Nomuraelmis amamiensis</i> M. Sato					
大東町塩田 阿用川 St.A	300	—	1995-1996	片岡ほか (1999)	誤同定